

まちの電気を再生可能エネルギーにチェンジ



再生可能エネルギーのさらなる促進を

Q. 国分寺市の公共施設の再エネ率は0.26%で低すぎる。新庁舎は再エネ電力100%だが、他の公共施設もどんどん切り替えを。全ての公共施設の電気を再エネにできたら、温室効果ガスを何%削減できるのか。

A. ゼロカーボン行動計画に沿って、再エネ導入を進める。公共施設の電力全てを温室効果ガス排出量実質ゼロの電力にした場合、全体排出量の70%削減と見込んでいる。

「蛇口を閉める」脱プラスチック政策を

Q. プラごみ袋の有料化から半年が経過したがそもそも使い捨てプラスチックの製造や使用を

減らさない限り、プラごみは増え続ける。プラごみを根本的に減らす取り組みを。

A. 公共施設8つにマイボトル用給水器を設置。北町地域センターまつりでは、繰り返し使えるリユース容器で豚汁の販売を実施し、市民から好評だった。今後は、小売店でのマイ容器持参や量り売りについても研究する。

当事者に寄りそったパートナーシップ制度へ

Q. 自治体で実施するパートナーシップ制度も年々増え、同性婚の実現の後押しとなっている。市は利用できる行政サービスを拡大するべきだ。民間の賃貸住宅に入居しやすくしたり、住民票の続柄欄に「妻・夫（未届）」の記載を。

無会派
(グリーンな国分寺)
鈴木 ちひろ



A. 不動産にLGBTQ+への理解を求めていく。当事者からの相談があれば対応していく。住民票の続柄を事実婚と同じ表記にするのは難しい。**在留資格がない外国人へ行政サービスを**

Q. 入管による在留資格がない外国人への人権侵害が問題になっている。働くことや、国民健康保険の加入も禁止されている「仮放免者」のいのちや人権を守る行政サービスが必要だ。

A. 仮放免者が妊娠したときの母子保健事業の利用や、子どもの修学ができる。各種相談窓口も利用することができる。

西国分寺駅東側の市有地の活用について



尾沢: 西国分寺駅東側の市有地（現スポーツクラブ）の現状と経緯を教えてください。

答弁: 西国分寺駅東地区再開発事業に伴う公益施設整備事業として、民間事業者がスポーツクラブ（ルネサンス）を運営している。旧借地借家法に基づいて貸付期間は平成19年8月1日から令和9年7月31日（20年間）、借地期間中に建物を除却して返却することが原則となります。

尾沢: 当該用地の今後の利活用の方向性について教えてください。

答弁: 現在、使用者から事業継続の申入れがなされている状況です。ただ、現時点ではどうなるか、ということはまだ決まっておりません。

尾沢: このスポーツクラブにて小学校の水泳指導の校外化を行っているが、その現状の説明と今後の考え方について教えてください。

答弁: 今年度から第六小学校におきまして、西国分寺のルネサンスの屋内プール施設を利用して実施しています。これにより教員の学校の維持管理全般に係る負担軽減が図れるとともに、天候に左右されない計画的な水泳指導が可能となったほか、既存の校内プールの施設の今後の解体・撤去も視野に入れた学校生活環境のさらなる向上に向けた整備計画等の検討の幅も広がった。今後の第六小学校におけるプールの委託については他校で実施している事業者や、

自由民主党国分寺
尾沢 しゅう



他の民間事業者等で受け入れられるかどうかなどの可能性を検討する必要があります。**尾沢:** その検討の中に市が保有する市民室内プール（こちらの方が委託料も安い、移動距離も短い可能性あり）を含めるようにお願いします。西国分寺駅東側の当該市有地は原則、更地で返却されるとのことですが、小学校プールの校外化のために契約の延長をしないようにお願いします。そして、返却された土地を活用して市内外から人を多く呼び出すことができ、まちの魅力の発信にも繋がる新たなまちづくりを提案します。

インターネットによる誹謗中傷対策を！



木村: インターネットにおける誹謗中傷対策について、私の一般質問をきっかけに三年前に「すべての人を大切にするまち宣言」を出したが、今後は条例化が必要だ。

部長: インターネットの誹謗中傷に関する条例は、江戸川区等で制定している。提案の条例制定も含め、情報収集しながら研究していく。

木村: 近年は要介護の前段階のフレイルから、フレイルの前段階のプレフレイル対策が言われ、その対象は40・50代だ。プレフレイル予防で健康寿命を延ばすような取組を。

部長: 40・50代の4～5割がプレフレイル予備軍だ。予防的観点が必要であり、健康部と連携

して実施に向け対策を検討していく。

木村: 人材不足が叫ばれる中、若手職員の区部への流出が増えている。対策を。

市長: 流動化を止めることは難しいと考えるが、**国分寺市役所に勤めていたいと思える施策を打っていくことが必要だ。**

部長: 複数年にわたる重要業務にチャレンジさせることも重要だ。現管理職は、目指される職員になるための啓発や意識改革を行っていく。

木村: 市長のゼロカーボンシティ宣言や、新庁舎の実質再生可能エネルギー100%達成等の取組を広げるために、**公共調達条例中の、事業者の責務などにもこの考え方を踏まえた条例改正を。**

無会派
木村 徳



部長: 市全体で脱炭素の取組を加速し関係各所と連携を図り、検討を進める。

木村: 来年度は第2次国分寺市総合ビジョンの初年度でもあるが、**予算編成の考え方は。**

部長: 費用対効果を十分検証し、**バランスの取れた予算を念頭に置くが、見通しは大変厳しい。**

木村: その影響で大きなものの一つは年々増加しているふるさと納税の流出だが、**見通しは。**

部長: 流出が優に9億円を超える見通しで、**学校整備費を超える額で看過できない。今後の財政運営は危機感をもって予算編成を進める。**



姉妹都市 佐渡市議会 と議会交流

11月4日、5日に姉妹都市の新潟県佐渡市議会が国分寺市を訪れ、国分寺市議会と議会交流を行いました。

コロナ禍の影響で国分寺市での議会交流は5年ぶりとなりました。

佐渡市議会からは11名が訪れ、国分寺まつりや新庁舎建設について視察研修を行いました。

両市議会の更なる相互理解を深める議会交流となりました。



新庁舎議場